

さおり
萩原彩織さん
(福島高校2年)




3月20日、多くの期待とちょっぴりの不安を抱き、串間を出発しました。オーストラリアに着いて初めに思ったことは「外国人がいっぱいいる」でした。自分が外国人なのに勘違いしてしまいました(笑)。この研修で得たものもとても大きく、私にとって一生忘れられないものとなりました。帰国してみて、日本の良さ、オーストラリアの良さに気づき、またほかに国の良さにも出会いたいと思いました。恥ずかしがり屋の私が、いつの間にか前を向いて話せるようになったのです。今、夢に向かい一歩前進できたように思っています。協力してくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

小見門梨恵さん
(福島高校2年)




8日間、オーストラリアに滞在して感じたことは、文化の違いでした。私がホームステイした家は、靴のままでした。初めは少し抵抗がありましたが、家の中はきれいで慣れれば普通でした。それから、オーストラリア人はみな友好的で、知らない人同士でも気軽にあいさつをします。また、言葉も違います。違うからといって、互いを理解することは難しいことではないと思います。私は、英語らしい英語は話せませんが、ジェスチャーや笑顔でたくさんの方が伝わりました。このような経験ができたことを幸せに思います。この経験をこれからの人生で生かしていきたいです。

水頭 心さん
(福島高校2年)




このホームステイで、私が考えたことがいくつかあります。まずは、日本の受験のための英語です。私は、日本で勉強している英語は何なんだろうかと、思いました。日本の英語が全くだめというつもりはありませんが、日本では会話の勉強をほとんどしません。実際に必要なのは、会話なのだと思います。また今回、日本食のおいしさを改めて感じました。オーストラリアの食はパンが主で、においや辛さがしっかりついていました。今回、派遣事業に参加し、いろいろな体験をすることができました。本当に楽しかったです。参加させてくれた両親やたくさんの方に感謝したいと思います。

川畑寛子さん
(福島高校3年)




ホームステイで私たちがお世話になったのは、カレンというお母さんとエミという女の子2人暮らしの家でした。カレンは日本語が話せるので、会話に困ることはありませんでしたが、エミは日本語が通じないため、会話はすべて英語です。初めは通じないこともあり苦労しました。でも、エミもゆっくり話してくれたりして会話できたときはうれしかったです。オーストラリアの人はみんな気さくでいい人ばかりでした。私は、出会った人全員の写真を撮りました。また、機会があれば行きたいです。絶対、行くと思います。次もたくさんいい思い出を作り、たくさんいい経験をしたいです。

佐藤美奈子さん
(福島高校3年)




一番、私が楽しみにしていたのは、ホームステイでした。ホストファミリーのジャッキーは小柄でとてもかわいく、優しく接してくれました。家族も優しく、安心しました。次の日からすっかり英語に慣れ、とっさの一言や感情を表すときは自然に英語が出てくるようになりました。英語で話すことが楽しくてたまりませんでした。この11日間、私はたくさんの方に会いました。この出会いを大切にしていきたいです。私は、オーストラリアでの貴重な体験を絶対忘れません。この経験を将来に生かしていきたいです。そして、これからも串間市の国際化に役立てることをしたいです。

石塚ちなみさん
(福島高校2年)




オーストラリアへ向かう途中、私はいろんなことを考えていました。「ホストファミリーはどんな人だろう」「英語はつうじるかな」。でも向こうに着くと、そんな考えは一気に吹っ切れました。なぜなら、日本にはない強い太陽と青い空が私たちを出迎えてくれたからです。その美しさは一生忘れたいと思います。私のオーストラリアでの思い出ベスト3は、夜の国立公園で土ボタルを見たこと、カニ捕りツアーに行ったこと、ホストファミリーと過ごした時間です。ホームステイでは、勉強になることばかりでした。近い将来、ワーキングホリデーか留学でオーストラリアに住みたいです。

若松晴子さん
(福島高校3年)




今回の派遣事業に参加し、私は今まで持っていた自分の世界の狭さに気づかされました。ゴールドコーストは写真のような美しい自然がたくさんあり、その景色に感動しました。驚いたことは街にごみがないことです。このことが地域の自然の美しさをより際立たせているのだらうと思いました。串間も自然が多いところですが、ゴールドコーストのような観光地にするためには、市の美化が必要だと感じました。また、ホストファミリーに日本のことを聞かれると答えにとまどったりしました。外国の文化を理解するためには、自国のことをしっかり理解しておかなければならないと思いました。

島田多喜さん
(福島高校3年)




私のホストファミリーは家族4人の温かな家庭で私たちが本家の家族のように受け入れてくれました。ホストシスターのキンバリーは1年間、日本語を学んでいるとのことでしたがそう思えないほど上手でした。私たちから日本語を学び取る姿勢が、いい刺激になりました。いつも笑顔で紳士的なお父さん、おいしい料理を作ってくれるお母さん、笑顔が素敵な弟のクリス。そして姉妹のように仲良くなれたキンバリー。本当に素晴らしいファミリーに出会うことができました。今回オーストラリアに行き、自分の視野が広がったことで、さらに世界に目を向けたいと思うようになりました。

私たちがオーストラリアで学んだこと

今年3月、市内在住の8名の高校生がオーストラリアに派遣されました。現地での視察研修や、異文化に触れた感想を聞きました。

